

目次

CONTENTS

I. ご挨拶	1
II. 2019年度公開講座一覧表	2
III. 2019年度公開講座実施期間一覧表	4
IV. 受講手続き等について	8
V. 2019年度公開講座の詳細	10
VI. 宇都宮大学までの交通	46
VII. 宇都宮大学構内建物配置図	47

2019年度宇都宮大学公開講座受講申込書
(切り取ってお使いください)

2019年度カレンダー

ご挨拶

これまで公開講座の研究開発及び提供ならびに社会人教育の研究を担ってきた地域連携教育研究センターは、平成30年度より創設された「地域創生推進機構」の一角をなす「宇大アカデミー」として新たなスタートを切りました。地域シンクタンク機能を担う地域デザインセンター、地域イノベーション創出を担う産学イノベーション支援センターといった他部門とともに、教育・研究における地域連携の一層の強化と地域創生機能の拡充をはかっています。

地域人材の育成機能を担う宇大アカデミーは、公開講座に加えて、地域各界のトップを講師陣とするプログラムにより次世代の企業人材育成に貢献する「宇大未来塾」や本学の正課授業の開放により継続的・発展的な生涯学習機会を提供する「UUカレッジ」をその下におさめています。ユニバーサル・アクセス時代、人生100年の時代の大学として地域の市民や企業人の皆様が学びなおし、学び続ける場としての仕組み作りや環境の整備・拡充に総合的に取り組んでいます。

多種多様かつユニークで身近なテーマにより地域の多くの皆様にご愛顧いただいている本学の公開講座ですが、本講座は生涯学習の機会であるとともに本学の教育・研究の一端に触れていただく機会でもあります。ここを入口として、本学の教育・研究に対する興味・関心を高めていただくとともに、より主体的な学び、継続的・体系的な学びへの意欲を高めていただければ幸いです。

2019（平成31年）★月

宇都宮大学地域創生推進機構宇大アカデミー

アカデミーディレクター 天沼 実

Ⅱ 2019年度公開講座一覧

	No.	公開講座名	担当講師	ページ
無 料	1	仲間づくりと居場所づくりの技法 －「生きがい集」としての 生涯学習の愉しみ方－	地域創生推進機構教授 佐々木英和	10
	2	コンピュータは数独パズルを解けるか？ －視覚化して理解する「学び直し数学」－	名誉教授 佐藤 禎宏	11
	3	コンピュータミュージック入門	教 授 東海林健二 他2名	12
	4	写真から描き起こすコンピュータ 絵画教室	教 授 東海林健二 他1名	13
	5	男女共同参画セミナー公開講座 2019	ジャーナリスト 昭和女子大学現代ビジ ネス研究所研究員 治部れんげ	14
国 際 理 解	6	近代中国知識人から見た「日本」	国際学部教授 松金 公正 他1名	15
	7	ドイツ語とドイツ文化 －ドイツを知ろう－	名誉教授 橋本 孝	16
	8	ヨーロッパ・ドイツにおける死と 墓地の歴史 －Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ－	教育学部教授 下田 淳	17-19
	9	文明と人生 － Civilization and human life －	元宇都宮大学客員教授 神長 善次	20
教 養 ・ 文 化	10	書道 －初級・中級・上級・専門－	地域デザイン科学部教授 中島 宗皓	21-24
	11	IoT (Internet of Things) と情報 化社会の未来	工学研究科教授 伊藤 篤	25
	12	平方根を通して数学を楽しむ	名誉教授 大関 清太	26
	13	人間について考える	名誉教授 川崎 秀樹	27
	14	声を鍛える －夏・秋－	名誉教授 石野 健二	28-29
	15	安全・安心とは何だろう？ －危険を察知し、 自主的に解決する知恵を学ぶ－	元宇都宮大学教授 松岡 猛 他3名	30
	16	戦争と文学、そしてジャーナリズム	名誉教授 市川裕見子 他3名	31
	17	コンピュータビジョンと機械学習の体感	教 授 東海林健二	32

	No.	公開講座名	担当講師	ページ
教養・文化	18	わが国における作物生産技術	農学部准教授 高橋 行継	33
	19	音楽指導者のための指揮法最初歩 －独学で悩んでいる貴方へ－	教育学部准教授 高島 章悟	34
	20	管弦楽・吹奏楽基礎入門 －管弦楽・吹奏楽への理解を深める－	教育学部准教授 高島 章悟 他1名	35
	21	意思決定のための心理学 －成功につなげる論理的思考と データ分析－	東京大学名誉教授 繁樹 算男 地域創生推進機構教授 佐々木英和	36
地域コミュニケーション	22	栃木で考える防災と災害復興 Part 4	教育学部教授 長谷川万由美 他6名	37
	23	「話しあいファシリテーション」の 理論と実践 2019 －「現実－理想－方法」の 三点思考の有効性－	地域創生推進機構教授 佐々木英和	38
	24	参加体験型学習で学びあうリーダー論 －「お互いの尊びあい」を促す学び方－	地域創生推進機構教授 佐々木英和 他3名	39
	25	音楽を通じた地域づくり －ドラマサークルファシリテーションの基礎－	教育学部教授 長谷川万由美 他1名	40
	26	終章コミュニティワーカー養成講座 －とちぎ終章学を学ぶ－	地域創生推進機構 コーディネーター 廣瀬 隆人 他6名	41
	27	いのちをいただきます －食と農の視点で、 食卓から健康までを考える－	宇都宮大学認定食農ファシリテーター 和久井 隆 他1名	42
	28	民俗学からみた栃木 No.10 －栃木の特異な信仰をたどる－	栃木くらし文化研究所 代表 柏村 祐司	43
	29	2019年度地域コラムニスト養成講座 －絆と共感を生む情報発信とは？－	地域創生推進機構教授 佐々木英和 他3名	44
	30	作ってみませんか 私の人生 24句 － 400字詰原稿用紙1枚で綴る 私のものがたり－	毎日新聞社 山本 建 他3名	45

Ⅲ

2019年度公開講座一覧

No.	講 座 名	定員	受講料	4 月			5 月		
				上	中	下	上	中	下
1	仲間づくりと居場所づくりの技法 －「生きがい楽集」としての生涯学習の楽しみ方－	100	0						
2	コンピュータは数独パズルを解けるか？ － 視覚化して理解する「学び直し数学」－	15	0						
3	コンピュータミュージック入門	10	0						
4	写真から描き起こすコンピュータ絵画教室	10	0						
5	男女共同参画セミナー公開講座2019	150	0						
6	近代中国知識人から見た「日本」	20	5,000						
7	ドイツ語とドイツ文化 －ドイツを知ろう－	20	10,000						
8	①ヨーロッパ・ドイツにおける死と墓地の歴史Ⅰ	30	5,000						
	②ヨーロッパ・ドイツにおける死と墓地の歴史Ⅱ	30	5,000						
	③ヨーロッパ・ドイツにおける死と墓地の歴史Ⅲ	30	5,000						
9	文明と人生 － Civilization and human life －	30	5,000						
10	①書道 初級コース	18	5,000						
	②書道 中級コース	18	5,000						
	③書道 上級コース	12	5,000						
	④書道 専門コース	12	5,000						
11	IoT (Internet of Things) と情報化社会の未来	10	5,000						
12	平方根を通して数学を楽しむ	15	10,000						
13	人間について考える	20	5,000						

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
6 / 8(土) 14:30 ~ 16:30 (全1回)											
6 / 5 ~ 11 / 13(水) 12:50 ~ 14:20 (全10回)											
			9 / 29 ~ 10 / 27(日) 14:00 ~ 16:00 (全5回)								
				11 / 10 ~ 12 / 8(日) 14:00 ~ 16:00 (全5回)							
			9 / 26(木) 13:30 ~ 15:30 (全1回)								
			10 / 1 ~ 10 / 29(火) 18:00 ~ 20:00 (全5回)								
				10 / 17 ~ 2 / 13(木) 13:30 ~ 15:30 (全10回)							
6 / 7 ~ 7 / 5(金) 13:30 ~ 15:30 (全5回)											
			10 / 4 ~ 10 / 30(水)・(金) 13:30 ~ 15:30 (全5回)								
				11 / 8 ~ 12 / 13(金) 13:30 ~ 15:30 (全5回)							
			10 / 4 ~ 10 / 25(金) 14:00 ~ 16:30 (全4回)								
6 / 6 ~ 10 / 3(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)											
				10 / 17 ~ 12 / 12(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)							
6 / 13 ~ 10 / 10(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)											
				10 / 24 ~ 12 / 19(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)							
6 / 3 ~ 6 / 6(月)~(木) 18:00 ~ 20:30 (全4回)											
6 / 6 ~ 12 / 5(木) 13:30 ~ 15:30 (全10回)											
6 / 1 ~ 6 / 29(土) 10:00 ~ 12:00 (全5回)											

No.	講 座 名	定員	受講料	4 月			5 月		
				上	中	下	上	中	下
14	①声を鍛える 夏コース -声のしくみとトレーニング-	30	5,000						
	②声を鍛える 秋コース -声のしくみとトレーニング-	30	5,000						
15	安全・安心とは何だろう？ -危険を察知し、自主的に解決する知恵を学ぶ-	25	5,000						
16	戦争と文学、そしてジャーナリズム -文学は戦争の何を伝えてきたか-	30	5,000						
17	コンピュータビジョンと機械学習の体感	10	5,000						
18	わが国における作物生産技術	30	5,000						
19	音楽指導者のための指揮法最初歩 -独学で悩んでいる貴方へ-	15	5,000						
20	管弦楽・吹奏楽基礎入門 -管弦楽・吹奏楽への理解を深める-	30	5,000						
21	意思決定のための心理学 -成功につなげる論理的思考とデータ分析-	40	5,000						
22	栃木で考える防災と災害復興 Part 4	20	5,000						
23	「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2019 -「現実-理想-方法」の三点思考の有効性-	15	15,000						
24	参加体験型学習で学びあうリーダー論 -「お互いの尊びあい」を促す学び方-	25	5,000						
25	音楽を通じた地域づくり -ドラムサークルファシリテーションの基礎-	25	5,000						
26	終章コミュニティワーカー養成講座 -とちぎ終章学を学ぶ-	20	10,000						
27	いのちをいただきます -食と農の視点で、食卓から健康までを考える-	15	5,000						
28	民俗学からみた栃木 No.10 -栃木の特異な信仰をたどる-	30	5,000						
29	2019 年度地域コラムニスト養成講座 -絆と共感を生む情報発信とは？-	30	5,000						
30	作ってみませんか 私の人生 24 句 -400 字詰原稿用紙 1 枚で綴る私のものがたり-	30	5,000						

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	7 / 10 ~ 8 / 7 (水)										
				10 / 30 ~ 11 / 27 (水)							
	6 / 14 ~ 7 / 19 (金)										
				10 / 23 ~ 11 / 20 (水)							
	6 / 2 ~ 6 / 30 (日)										
								1 / 8 ~ 2 / 5 (水)			
			9 / 13 ~ 10 / 10 (木・金)								
								12 / 5 ~ 1 / 16 (木)			
	6 / 15 ~ 7 / 13 (土)										
	6 / 7 ~ 6 / 28 (金)										
	6 / 4 ~ 11 / 12 (火)										
								12 / 3 ~ 1 / 21 (火)			
	6 / 22 ~ 7 / 14 (土・日)										
				8 / 21 ~ 10 / 23 (水)							
								8 / 3 ~ 12 / 7 (土)			
				9 / 4 ~ 10 / 16 (水)							
								9 / 7 ~ 11 / 9 (土)			
	6 / 8 ~ 7 / 6 (土)										

受講手続き等について

1. 受講対象者

どなたでも受講できます。

2. 申込方法・申込期間

お申し込み～受講までの流れ

① 受講申込み

2019年4月1日(月)～4月30日(火)必着
【FAX・郵送】

受講申込書（巻末またはホームページからダウンロードできます。）に必要事項を記入しお申し込みください。

【メール】

受講申込書をホームページからダウンロードし、メールに添付してお申し込みください。

② 受講可否の通知

2019年5月13日(月)より順次発送

③ 受講料の納入

2019年5月14日(火)～5月24日(金)

「受講通知」に記載されている指定口座にお振り込みください。

※振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

詳細は「受講通知」にてご確認ください。

④ 受講

受講確定後、講座開始日時の変更・中止などの特別な場合以外はご連絡いたしません。開講日に直接会場までお越しください。

3. 公開講座実施会場

2019年度公開講座の詳細をご確認ください。

4. 公開講座修了証書の授与

所定の課程（全日程の3分の2以上の出席）を修了した方には修了証書を発行いたします。（有料講座のみ）

5. とちぎ県民カレッジ連携講座について

全ての講座が、とちぎ県民カレッジと連携しています。講座の修了者は、希望によりとちぎ県民カレッジから単位が認定されます。詳細は栃木県総合教育センター生涯学習部（TEL 028-665-7206）へお問い合わせください。

6. 注意事項及びお願い

- ① 受講料の払い戻しは、本学の都合により受講不可能となった場合を除いて原則行いません。
- ② 受講料の他にテキスト代、教材費等が必要な講座があります。各講座の注意事項をご確認ください。尚、記載事項以外に必要なになった場合はご連絡いたします。
- ③ 申込み多数の場合は、抽選となりますのでご了承ください。
- ④ 定員に達しない場合は、締め切り後も随時募集します。
- ⑤ 受講申込者が最小開講人数に満たない場合は、当該講座を中止させていただきます。
- ⑥ 車で来校される方へ
 - ※入構許可証を発行します。受講申込書に車両情報をご記入ください。
 - ※入構許可証は各講座の初回に交付します。
 - ※全1回の講座は発行いたしません。
 - ※大学構内へ入構する際は、毎回、正門案内所で入構規制ゲート用パスカードを受領してください。パスカードがないと入構できません。
 - ※一般駐車場に駐めてください。
- ⑦ 2019年3月1日現在で作成しておりますので、内容が変更される場合があります。最新の内容はホームページにてご確認ください。

〈お問い合わせ先〉

宇都宮大学地域創生推進機構
宇大アカデミー生涯学習研究開発室
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350
TEL 028-649-5144
FAX 028-649-5145
E-mail chiren@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/cercc/>
(月～金 10:00～12:00 / 13:00～17:00)

〈公開講座お申し込み先〉

宇都宮大学地域創生推進機構
宇大アカデミー生涯学習研究開発室
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350
FAX 028-649-5145
E-mail kouza@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

V 2019年度公開講座の詳細

期日
6月8日

曜日
土曜日

時間帯
14:30～16:30

1. 仲間づくりと居場所づくりの技法

－「生きがい楽集」としての生涯学習の楽しみ方－

担当講師

地域創生推進機構教授

佐々木英和

講座の内容

人生100年時代には、健康づくりだけでなく、友達づくりや生きがいづくりも極めて重要です。本講座では、参加体験型学習の手法を取り入れつつ、楽しく学びあっていくことを支援します。

定員 100名

受講料 無料

プログラム 全1回

月日	テーマ
1. 6月8日(土)	であい・ふれあい・まなびあい

会場 5B11教室 (峰町5号館B棟1階)

期 日
6月5日～11月13日

曜 日
水曜日

時間帯
12:50～14:20

2. コンピュータは数独パズルを解けるか？

－視覚化して理解する「学び直し数学」－

担当講師

名誉教授

佐藤 禎宏

講座の内容

長い間、Mathematicaを使った数学入門やデータ処理の授業を行ってきました。学生から“数独をMathematicaで解けるか”の質問を受けたことをきっかけに数独を解くプログラムを作りました。クラウド上のWolfram Programming Labを使ってWolfram言語の初歩を学んだ後、“数独を解くプログラム”を演習形式で学びます。

定 員

15名

受 講 料

無 料

プログラム

全10回

月 日

テーマ

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| 1. 6月5日(水) | ネットワーク環境とWolfram Programming Labの使い方 |
| 2. 6月12日(水) | Wolfram 言語：プログラミングの基礎 |
| 3. 6月19日(水) | ノートブックとドキュメントセンターの使い方 |
| 4. 6月26日(水) | 数式処理、リスト |
| 5. 7月3日(水) | 関数定義とグラフィックス |
| 6. 10月16日(水) | Wolfram 言語で数独を表現しグラフィックスで描く |
| 7. 10月23日(水) | 数独のルールを表現する |
| 8. 10月30日(水) | 数独の候補図を描く |
| 9. 11月7日(水) | 数独を解くプログラム |
| 10. 11月13日(水) | まとめ |

会 場

総合メディア基盤センター 峰キャンパス(峰町4号館C棟1階)

そ の 他

- PC端末を使用して演習形式で講義を進めます。
- ソフトはWolfram Cloud上のProgramming Labを使用します。
<https://lab.open.wolframcloud.com/app/>
- 数独に関しては、佐藤禎宏のブログMMAYS's blogを参考にしてください。
<http://mmays.hatenablog.com/entry/2013/11/25/122237>
- ※ “数独”は株式会社ニコリの登録商標です。
- ※ MathematicaはWolfram Research, Inc.の登録商標です。
- ※ Wolfram Cloud, Wolfram Programming LabはWolfram Research, Inc.の商標です。

期 日
9月29日～10月27日

曜 日
日曜日

時間帯
14:00～16:00

3. コンピュータミュージック入門

担当講師

名誉教授
コンピュータミュージック演奏家
絵画・音楽研究家

東海林健二
山口 Minoru
倉田 沙織

講座の内容

Extempore というソフトウェアを利用し、簡単なプログラム (LISP) を作成して、さまざまな楽器音で自由に曲を作りましょう。

定 員 10名

受 講 料 無 料

プログラム 全5回

月 日

1. 9月29日(日)
2. 10月6日(日)
3. 10月13日(日)
4. 10月20日(日)
5. 10月27日(日)

テーマ・担当講師

演奏の紹介、ソフトウェアの利用法 東海林
和音とリズムの導入、各種楽器音の紹介 山口
曲作りの実際 倉田
個別課題による作品制作 山口
発表会：自作曲の発表と録音、講評
東海林・山口・倉田

会 場

情報工学科ネットワーク実験室 I
(陽東キャンパス9号館2階 9-204)

そ の 他

- WindowsPC を利用して演習形式で授業を行いますので、Windows の基本操作ができる方を対象としています。
- 音楽の知識は特には必要としません。
- 毎回、イヤホンをご持参ください。最終回に自作曲を録音し、後日、配付します。
- ソフトウェア Extempore の概要は下記 YouTube を参照してください。

<https://youtu.be/GSGKKey8vHqg>

「ComputeMusic(now) : Andrew Sorensen nat TEDxQUT」

<https://youtu.be/yY1FSsUV-8c>

「AndrewSorensenKeynote : "TheConcertProgrammer"-OSCON2014」

期 日
11月10日～12月8日

曜 日
日曜日

時間帯
14:00～16:00

4. 写真から描き起こすコンピュータ絵画教室

担当講師

名誉教授
絵画・音楽研究家

東海林健二
倉田 沙織

講座の内容

研究室で開発したソフトウェアを利用し、写真を下絵に線画を描くことで、グラデーションが美しい彩色線画を作りましょう。写真を各自用意してもらうことで、思い出の詰まった絵画を描くことができます。

定 員 10名

受講料 無 料

プログラム 全5回

月 日	テーマ・担当講師
1. 11月10日(日)	ソフトウェアの利用法 東海林・倉田
2. 11月17日(日)	写真に忠実に線画を描いてみよう 東海林
3. 11月24日(日)	自然、建物、ペットや人物を描く 倉田
4. 12月1日(日)	個別課題による作品制作 東海林
5. 12月8日(日)	発表会と作品の印刷 東海林・倉田

会 場 情報工学科ネットワーク実験室 I
(陽東キャンパス9号館2階 9-204)

そ の 他

- WindowsPC を利用して演習形式で授業を行いますので、Windows の基本操作ができる方を対象としています。
- 絵画やプログラミングの知識は特には必要としません。
- 可能ならば、題材となる写真を複数枚（データでもプリントでも可）持参してください。
- クリスマスカードや年賀状にいかがですか。

期 日
9月26日

曜 日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

とちぎ男女共同参画センター連携事業
5. 男女共同参画セミナー公開講座 2019

担当講師

ジャーナリスト

昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員

治部れんげ

講座の内容

『『ジェンダーはビジネスの新教養』～メディアが発するジェンダー問題を考えよう～』と題して、CM等のメディアを題材に取上げ、ジェンダーに関するメディア表現のあり方を通して、ジェンダーやメディア・リテラシー（情報を読み解く力）を学び、固定的な性別役割分担意識を見直す場とします。

定 員 150名（先着順）

受講料 無 料

プログラム 全1回 9月26日(木) 13:30～15:30

会 場 5B11教室（峰町5号館B棟1階）

そ の 他

- この講座は、宇都宮大学男女共同参画推進室との共同開催です。
- 詳細は、宇都宮大学公開講座ホームページ及びパーティホームページにてお知らせします。

申込方法：3月3日(水)より受付を開始します。

パーティホームページ、電話、FAX、直接来館にてお申し込みください。先着順となります。

お問い合わせ：とちぎ男女共同参画センター 事業推進課
〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町4番地1（パーティ内）
TEL 028-665-8323 FAX 028-665-8325
火曜日～土曜日（国民の休日を除く）午前9時～午後5時



※ホームページからのお申し込みも出来ます。

<http://www.parti.jp/>

※携帯電話からのお申し込みもできます。

期 日
10月1日～10月29日

曜 日
火曜日

時間帯
18:00～20:00

6. 近代中国知識人から見た「日本」

担当講師

国際学部教授
国際学研究科博士後期課程

松金 公正
梁 鎮輝

講座の内容

近代中国知識人の日本観にかかる原典の精読を通じて、東アジアにおける日本の位置づけ、日中交流の変遷と実態を共に考える講座です。中級以上の中国語能力が必要です。

定 員 20名

最小開講人数 10名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ・担当講師

- | | | |
|--------------|-------------------------------------|------|
| 1. 10月1日(火) | 導入・近代中国知識人から見た「日本」
(1894 - 1924) | 松金・梁 |
| 2. 10月8日(火) | 近代中国知識人から見た「日本」
(1925 - 1936) | 梁 |
| 3. 10月15日(火) | 近代中国知識人から見た「日本」
(1937 - 1944) | 梁 |
| 4. 10月22日(火) | 近代中国知識人から見た「日本」
(1945 - 1971) | 梁 |
| 5. 10月29日(火) | まとめ・近代中国知識人から見た「日本」
(80年代以降) | 松金・梁 |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- 紙の辞書または電子辞書をご持参ください。
- 中級以上の中国語能力が必要です。

期 日
10月17日～2月13日

曜 日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

7. ドイツ語とドイツ文化

ードイツを知ろうー

担当講師

名誉教授

橋本 孝

講座の内容

2020年東京オリンピックです。ドイツからも多くの方が訪日します。ドイツ語会話(初級)とドイツ文化を勉強しませんか。語学と文化で活性化しましょう。

定 員 20名

最小開講人数 6名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 10月17日(木) | ドイツとはどんな国 |
| 2. 10月24日(木) | ドイツ語発音と自己紹介 |
| 3. 10月31日(木) | 観光案内の必要な言い回し |
| 4. 11月7日(木) | ドイツ文化アラカルト |
| 5. 11月14日(木) | ベートーベンの「歓喜の歌」をめぐって |
| 6. 1月16日(木) | 中世から近世のドイツ文化 |
| 7. 1月23日(木) | 18世紀・20世紀のドイツ |
| 8. 1月30日(木) | ワイマール共和国の時代 |
| 9. 2月6日(木) | ベルリンオリンピック |
| 10. 2月13日(木) | 1964年東京オリンピックと現代ドイツ |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- 要望があればテキストを使用します。(3,000円程度)

期 日
6月7日～7月5日

曜 日
金曜日

時間帯
13:30～15:30

8①. ヨーロッパ・ドイツにおける死と墓地の歴史 I

担当講師

教育学部教授

下田 淳

講座の内容

ドイツ中近世の墓地は儀式の場であったと同時に、俗的日常の場でもありました。19世紀を境に墓地は教会から世俗行政の管理に移りました。計画的に整備された近代墓地が造られ、それとともに死への態度や死者儀礼が変容しました。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 6月7日(金) | 教会墓地から市民墓地へ |
| 2. 6月14日(金) | 儀式の場、日常の場としての墓地 |
| 3. 6月21日(金) | 市民墓地の成立と宗派問題 |
| 4. 6月28日(金) | 戦没者・ユダヤ人墓地 |
| 5. 7月5日(金) | 火葬から自然葬墓地まで |

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
10月4日～10月30日

曜 日
水・金曜日

時間帯
13:30～15:30

8②. ヨーロッパ・ドイツにおける死と墓地の歴史Ⅱ

担当講師
教育学部教授

下田 淳

講座の内容

ドイツ中近世の墓地は儀式の場であったと同時に、俗的日常の場でもありました。19世紀を境に墓地は教会から世俗行政の管理に移りました。計画的に整備された近代墓地が造られ、それとともに死への態度や死者儀礼が変容しました。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 10月4日(金) | 市民墓地と遺体安置所 |
| 2. 10月11日(金) | トリーア市中央墓地の事例(1) |
| 3. 10月18日(金) | トリーア市中央墓地の事例(2) |
| 4. 10月25日(金) | トリーア市中央墓地の事例(3) |
| 5. 10月30日(水) | トリーア市中央墓地の事例(4) |

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
11月8日～12月3日

曜 日
金曜日

時間帯
13:30～15:30

8③. ヨーロッパ・ドイツにおける死と墓地の歴史Ⅲ

担当講師

教育学部教授

下田 淳

講座の内容

ドイツ中近世の墓地は儀式の場であったと同時に、俗的日常の場でもありました。19世紀を境に墓地は教会から世俗行政の管理に移りました。計画的に整備された近代墓地が造られ、それとともに死への態度や死者儀礼が変容しました。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 11月8日(金) | 死者儀礼の変容 |
| 2. 11月15日(金) | 中近世の死者儀礼 |
| 3. 11月22日(金) | 19世紀の死者儀礼 |
| 4. 12月6日(金) | 20世紀の死者儀礼 |
| 5. 12月13日(金) | 現代そして未来の死者儀礼 |

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
10月4日～10月25日

曜 日
金曜日

時間帯
14:00～16:30

9. 文明と人生

— Civilization and Human Life —

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

元宇都宮大学客員教授

神長 善次

講座の内容

現代世界文明の構造とそこでの日本文明の所在を明らかにします。その上で21世紀における文明の危機を考え、そこに生きる我々の人生を考究します。

定 員 30名

最小開講人数 14名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日

テーマ

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 10月4日(金) | 世界文明の構造 |
| 2. 10月11日(金) | 日本文明の構造 |
| 3. 10月18日(金) | 文明の危機 |
| 4. 10月25日(金) | 文明と人生 |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
6月6日～10月3日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

10①. 書道 初級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日のアートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 18名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 6月6日(木) | 毛筆の特性と扱い方を見直してみる |
| 2. 6月20日(木) | カタカナで書き方と学び方を考える |
| 3. 7月4日(木) | 楷書体の基礎と正しい書き方を学ぶ |
| 4. 7月18日(木) | 正しいひらがなの形を見直してみる |
| 5. 10月3日(木) | 古典的な楷書から臨書の方法を学ぶ |

会 場 峰町6号館2階(東奥)書道教室

そ の 他

- 初心者、経験者を問いません。(本学の公開講座「書道」を初めて受講される方は、初級コースを受講してください。)
- いかなる経験者も初級コースから受講ください。(書道師範など各書道団体等による等級資格は一切通用しません。)
- 半紙用の大筆と下敷きは指定しており、初回到教室で販売します。(その他、半紙や墨液なども購入できます。)
- 第5回を除く前期は、17時より教室で自習することができます。
- 初級から上級コースの修了生に限り、初級コースの再履修を認めています。(抽選の場合、再履修の希望者を優先することはありません。)

期 日
10月17日～12月12日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

10②. 書道 中級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日的アートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 18名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

1. 10月17日(木)
2. 10月31日(木)
3. 11月14日(木)
4. 11月28日(木)
5. 12月12日(木)

テーマ

楷書体の正しい書き方を学ぶ
行書体の正しい書き方を学ぶ
楷行の古典から臨書法を学ぶ
古筆から仮名の臨書法を学ぶ
草書とはどんな書体かを学ぶ

会 場

峰町6号館2階(東奥)書道教室

そ の 他

- 本学の公開講座、「書道(初級コース)」を修了された方に限ります。(初級コースで取り組んだ内容をよく理解し、自学自習のできる方に限ります。)
- いかなる経験者も初級コースから受講ください。
(書道師範など各書道団体等による等級資格は一切通用しません。)
- 第5回に草書体について学びます。上級コースへの準備として予定しています。
- 後期の書道教室は、17時30分まで授業中です。授業終了後に入室ください。
- 中級コースを経て、臨書力に不安のある方に限り、初級コースより再履修を認めます。(初級レベルの指導は一切行いません。)

期 日
6月13日～10月10日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

10③. 書 道 上級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日のアートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 12名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
1. 6月13日(木)	楷書体と行書体の臨書を復習する
2. 6月27日(木)	篆書体の古典臨書と表現法を学ぶ
3. 7月11日(木)	隸書体の古典臨書と表現法を学ぶ
4. 7月25日(木)	草書体の古典臨書と表現法を学ぶ
5. 10月10日(木)	半切サイズに展開する方法を学ぶ

会 場 峰町6号館2階(東奥)書道教室

そ の 他

- 本学の公開講座、「書道(中級コース)」を修了された方に限ります。(中級コースで取り組んだ内容をよく理解し、自学自習のできる方に限ります。)
- いかなる経験者も初級コースから受講ください。(書道師範など各書道団体等による等級資格は一切通用しません。)
- 上級コースでは、テキストを指定しており、初回到教室で販売します。(テキスト代:2,000円。その他、半紙や墨液なども購入できます。)
- 第4回に半切による臨書を体験します。専門コースへの準備として予定します。(半切は2枚まで提供します。第5回に試作を1枚持参ください。)
- 第5回を除く前期は、17時より教室で自習することができます。
- 上級コースを経て、臨書力に不安のある方に限り、初級コースより再履修を認めます。(中級レベルまでの指導は一切行いません。)

期 日
10月24日～12月19日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

10④. 書道 専門コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日のアートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 12名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
1. 10月24日(木)	課題作品の鑑賞から表現法を学ぶ
2. 11月7日(木)	個別課題による作品制作その1
3. 11月21日(木)	個別課題による作品制作その2
4. 12月5日(木)	個別課題による作品制作その3
5. 12月19日(木)	個別課題作品の相互批評会

会 場 峰町6号館2階(東奥)書道教室

そ の 他

- 本学の公開講座、「書道(上級コース)」を修了された方に限ります。(それぞれの制作テーマを設定して臨んでください。)
- 課題:半切以上、または相当程度の作品を初回に提出ください。(作品は臨書、創作を問いません。)
- 専門コースは、毎年何度でも受講(再履修)できます。(各自のテーマによる制作の時間としてお考えください。)
- 後期の書道教室は、17時30分まで授業中です。授業終了後に入室ください。
- 上級コースを経て、臨書力に不安のある方に限り、初級コースより再履修を認めます。(上級レベルまでの指導は一切行いません。)
- 専門コースは、それぞれが個別の課題を進める環境、いわば【コミュニティ】です。(毎年2月初旬に、陽東キャンパス11号館和室にて、有志による展覧会を開催します。)

期 日
6月3日～6月6日

曜 日
月～木曜日

時間帯
18:00～20:30

11. IoT(Internet of Things) と情報化社会の未来

担当講師

工学研究科教授

伊藤 篤

講座の内容

IoT(Internet of Things) について、実習を織り交ぜながら、どのように使われているのか、今後、どのようにIoTは社会に貢献できるのか、ということについて学びます。

定 員 10名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日

テーマ

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 6月3日(月) | IoTとは? |
| 2. 6月4日(火) | IoTを試す(実習) |
| 3. 6月5日(水) | IoTとAI |
| 4. 6月6日(木) | IoTと情報化社会の未来 |

会 場

リモートレクチャールーム
(陽東キャンパス3号館3階)

期 日
6月6日～12月5日

曜 日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

12. 平方根を通して数学を楽しむ

担当講師

名誉教授

大関 清太

講座の内容

小学校では算数が好きだったのに中学校から分からなくなった。色々原因があるでしょうが平方根もその一つです。昔の人たちも頭をかかえたのです。平方根を通して現代数学を探ってみましょう。

定 員 15名

最小開講人数 6名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 6月6日(木) | ピタゴラスについて |
| 2. 6月20日(木) | ひき算とわり算 |
| 3. 7月4日(木) | 有理数と無理数 |
| 4. 7月18日(木) | 平方根に立ち向かったバビロニア |
| 5. 8月1日(木) | 連分数 |
| 6. 10月3日(木) | 平均値 |
| 7. 10月17日(木) | 面白い性質 |
| 8. 11月7日(木) | 鳩の巣原理 |
| 9. 11月21日(木) | 不定方程式 |
| 10. 12月5日(木) | 色々な二次体 |

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
6月1日～6月29日

曜 日
土曜日

時間帯
10:00～12:00

13. 人間について考える

担当講師

名誉教授

川崎 秀樹

講座の内容

人類・ホモサピエンスの誕生、文明の起こり、人間らしさとは何か、最近の脳研究、A・ビッグデータ・バイオテクノロジーなどとの関わり、私たちの未来はどのようになっているかについて講座を通して考えていきます。

定 員 20名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 6月1日(土) | 地球、生命の誕生からホモサピエンスの登場まで |
| 2. 6月8日(土) | ホモサピエンスと文明 |
| 3. 6月15日(土) | 最近の脳科学でわかってきた脳のこと |
| 4. 6月22日(土) | 人間の持つ本性（攻撃性、やさしさなど） |
| 5. 6月29日(土) | 人間の未来について考える |

会 場 5C22教室（峰町5号館C棟2階）

期 日
7月10日～8月7日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

14 ①. 声を鍛える 夏コース

－声のしくみとトレーニング－

担当講師

名誉教授

石野 健二

講座の内容

電子機器等の発達の中で現代人の声の機能は弱体化し、声の伝える・届ける力の衰えが危惧されています。この講座では声のしくみを知り、それに基づいて実践的なトレーニングを行っていきます。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 7月10日(水) 声のしくみを知る
2. 7月17日(水) 喉頭のメカニズム
3. 7月24日(水) 呼吸のメカニズム
4. 7月31日(水) 声の実践Ⅰ
5. 8月7日(水) 声の実践Ⅱ

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- 声の理解・強化においては、朗読・歌唱等を通して行うことが最も効率的です。ただし、厳密な文学的・音楽的基礎力を必要とはしていません。
- 夏コースと秋コースの2コースを開講していますが、どちらか一方のみ受講可能です。

期 日
10月30日～11月27日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

14 ②. 声を鍛える 秋コース

－声のしくみとトレーニング－

担当講師

名誉教授

石野 健二

講座の内容

電子機器等の発達の中で現代人の声の機能は弱体化し、声の伝える・届ける力の衰えが危惧されています。この講座では声のしくみを知り、それに基づいて実践的なトレーニングを行っていきます。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 10月30日(水) | 声のしくみを知る |
| 2. 11月6日(水) | 喉頭のメカニズム |
| 3. 11月13日(水) | 呼吸のメカニズム |
| 4. 11月20日(水) | 声の実践Ⅰ |
| 5. 11月27日(水) | 声の実践Ⅱ |

会 場 UUプラザ2階コミュニティフロア

そ の 他

- 声の理解・強化においては、朗読・歌唱等を通して行うことが最も効率的です。ただし、厳密な文学的・音楽的基礎力を必要とはしていません。
- 夏コースと秋コースの2コースを開講していますが、どちらか一方のみ受講可能です。

期 日
6月14日～7月19日

曜 日
金曜日

時間帯
10:00～12:00

15. 安全・安心とは何だろう？

－危険を察知し、自主的に解決する知恵を学ぶ－

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

元宇都宮大学教授
明治大学名誉教授
元運輸安全委員会委員
横浜国立大学大学院教授

松岡 猛
向殿 政男
垣本由紀子
野口 和彦

講座の内容

私たちの身の回りには思いもよらない種々の危険が存在しています。安全・安心を基礎に立ち返って考え直します。さらに、種々の分野において実際に生じた事例も取り上げ、安全・安心・リスクについての理解を深め、危険（安全）の程度を理解・判断し、解決（避ける）する能力を身につけることを目的とした公開講座です。その結果、日々の生活において取るべき態度を醸成して頂ければと考えています。

定 員 25名

最小開講人数 14名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ・担当講師

- | | | |
|-------------|---------------------|----|
| 1. 6月14日(金) | 誰が「安全」を決めるのか？ | 向殿 |
| 2. 6月21日(金) | 身の回りの商品に「危険」は潜むのか？ | 松岡 |
| 3. 6月28日(金) | 「絶対に間違えない人」はいるのか？ | 垣本 |
| 4. 7月12日(金) | 「危険な安心」と「無駄な安全」とは？ | 松岡 |
| 5. 7月19日(金) | 社会全体で「安全」を構想するためには？ | 野口 |

会 場 5C22教室（峰町5号館C棟2階）

期 日
10月23日～11月20日

曜 日
水曜日

時間帯
14:00～16:00

16. 戦争と文学、そしてジャーナリズム

－文学は戦争の何を伝えてきたか－

担当講師

名誉教授
舞台芸術評論家
元毎日新聞外信部長
元マッキンゼーエリクソン勤務

市川裕見子
寺倉正太郎
中井 良則
根津 芳樹

講座の内容

人類が始まっていろいろ頻発した戦争は、詩歌、小説、演劇、ドキュメンタリーと、さまざまな文学に描写され、表現されてきました。現代のジャーナリズムも含めてその有り様と、社会への影響について考えたいと思います。

定 員 30名

最小開講人数 15名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

1. 10月23日(水)
2. 10月30日(水)
3. 11月6日(水)
4. 11月13日(水)
5. 11月20日(水)

テーマ・担当講師

トロイア戦争と源平合戦が文学に	寺倉
シェイクスピアは百年戦争を芝居に	市川
ヘミングウェイはスペイン内戦を取材	中井
劇作家岡田利規のイラク戦争の描き方	根津
夏目漱石は日露戦争をどう扱ったか	市川

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
6月2日～6月30日

曜 日
日曜日

時間帯
14:00～16:00

17. コンピュータビジョンと機械学習の体感

担当講師

名誉教授

東海林健二

講座の内容

画像処理とコンピュータビジョンの標準的なソフトウェアである OpenCV を用いて、簡単なプログラムを作成・実行し、急速に進歩するコンピュータビジョンと機械学習の可能性を体感します。

定 員 10名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 6月2日(日) OpenCV の利用法
2. 6月9日(日) 映像入力と加工
3. 6月16日(日) 顔位置検出
4. 6月23日(日) 手書き数字の機械学習
5. 6月30日(日) 機械学習結果の利用

会 場

情報工学科ネットワーク実験室 I
(陽東キャンパス9号館2階 9-204)

そ の 他

- 開催場所に設置してある WindowsPC を利用して演習形式で授業を行います。
- Windows の基本操作ができる方を対象としています。
- プログラミングの経験があるほうが望ましいです。
- 各回のテーマは予定であり、受講者のスキルに合わせて柔軟に対応します。

期 日
1月8日～2月5日

曜 日
水曜日

時間帯
10:00～12:00

18. わが国における作物生産技術

担当講師

農学部准教授

高橋 行継

講座の内容

農学部専門科目の公開講座版です。今回のシリーズでは稲作を中心にその生産技術について、歴史的な変遷も交えながら紹介します。作物学に関する知識があまりない方にも十分理解できるように努めます。農業生産とは、単純に技術だけ成り立っているわけではないことを知っていただきたいと思います。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1月8日(水) | 我が国稲作の現状と課題 |
| 2. 1月15日(水) | 育苗 |
| 3. 1月22日(水) | 移植と直播 |
| 4. 1月29日(水) | 肥料と栽培管理 |
| 5. 2月5日(水) | 収穫と乾燥調製 |

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
9月13日～10月10日

曜 日
木・金曜日

時間帯
18:45～20:45

19. 音楽指導者のための指揮法最初歩

—独学で悩んでいる貴方へ—

担当講師

教育学部准教授

高島 章悟

講座の内容

個々の指揮の現状を把握し、メカニズムを理解しながらより見やすく、わかりやすくなるよう探求し、楽曲を実際に演奏することで、より実用的に近づけていきます。

定 員 15名

最小開講人数 10名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 9月13日(金) | 指揮の現状とメカニズム |
| 2. 9月20日(金) | 指揮を楽曲で実践する(1) |
| 3. 9月27日(金) | 指揮を楽曲で実践する(2) |
| 4. 10月3日(木) | 指揮を楽曲で実践する(3) |
| 5. 10月10日(木) | 指揮を楽曲で実践する(4)、総評 |

会 場 大学会館 多目的ホール

そ の 他

- ある程度楽譜を読めることができること、また、全5回を受講できる人を優先します。
- 指揮棒を持参してください。

期 日
12月5日～1月16日

曜 日
木曜日

時間帯
18:45～20:45

20. 管弦楽・吹奏楽基礎入門

－管弦楽・吹奏楽への理解を深める－

担当講師

教育学部准教授
前公益財団法人群馬交響楽団総括補佐

高島 章悟
栗田 正之

講座の内容

本講義では、管弦楽、吹奏楽の2つの合奏体に焦点を置き、いろいろな角度から、観察し理解を深めていきます。

定 員 30名

最小開講人数 12名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ・担当講師

- | | | |
|--------------|---------------|----|
| 1. 12月5日(木) | 管弦楽と吹奏楽の基礎知識 | 高島 |
| 2. 12月12日(木) | 世界と日本の管弦楽、吹奏楽 | 高島 |
| 3. 12月19日(木) | 管弦楽の形態と鑑賞 | 高島 |
| 4. 1月9日(木) | 吹奏楽の形態と鑑賞 | 高島 |
| 5. 1月16日(木) | プロ管弦楽団の活動について | 栗田 |

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

その他

- アンサンブルに興味のある方はどなたでも受講できます。

期 日
6月15日～7月13日

曜 日
土曜日

時間帯
14:30～16:30

21. 意思決定のための心理学

－成功につなげる論理的思考とデータ分析－

担当講師

東京大学名誉教授・元日本心理学会理事長
地域創生推進機構教授

繁榎 算男
佐々木英和

講座の内容

頭の中を論理的に整理した上で、統計学的に検討し確率論的に意思決定する。本講座は、この各段階を、心理プロセスとして理解し、日常生活や職業生活などに応用できるよう講義していきます。

定 員 40名

最小開講人数 18名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ・担当講師

- | | | |
|-------------|------------------|-----|
| 1. 6月15日(土) | 意思決定のための論理的思考 | 佐々木 |
| 2. 6月22日(土) | 確率と効用 | 繁榎 |
| 3. 6月29日(土) | 期待効用最大化のルール | 繁榎 |
| 4. 7月6日(土) | データの予測のためのモデルと分析 | 繁榎 |
| 5. 7月13日(土) | モデルの選び方 | 繁榎 |

会 場 5C21教室（峰町5号館C棟2階）

そ の 他

- 繁榎算男『後悔しない意思決定』（岩波科学ライブラリー 129、岩波書店、2007年、1200円）を、事前に読んでおくことをお勧めいたします。

期 日
6月7日～6月28日

曜 日
金曜日

時間帯
13:30～16:00

22. 栃木で考える防災と災害復興 Part 4

担当講師

教育学部教授	長谷川万由美
地域デザイン科学部准教授	近藤 伸也
地域デザイン科学部准教授	石井大一朗
留学生・国際交流センター	飯塚 明子
茨城大学社会連携センター講師	土崎 雄祐
鹿沼市社会福祉協議会	柴田 貴史
(公財)とちぎ男女共同参画財団	芳村 佳子

講座の内容

栃木県内に甚大な被害をもたらした平成27年9月関東・東北豪雨における事例をもとに、防災とは何か、平時から私たちができることは何かを昨年度に引き続き考えていきます。

定 員 20名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日	テーマ・担当講師
1. 6月7日(金)	災害が起こると地域はどうなるか 近藤
2. 6月14日(金)	災害に強いまちづくり 石井
	災害に強いまちづくりワークショップ 飯塚
3. 6月21日(金)	災害復興と被災者支援 芳村
	被災者支援ワークショップ 長谷川
4. 6月28日(金)	私たち(市民)は何ができるか考える 柴田
	討論会 土崎

会 場

第1回目・第2回目 5C22教室(峰町5号館C棟2階)
第3回目 峰ヶ丘講堂
第4回目 5C22教室(峰町5号館C棟2階)

期 日
6月4日～11月12日

曜 日
火曜日

時間帯
18:45～20:45

23. 「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2019

－「現実－理想－方法」の三点思考の有効性－

担当講師

地域創生推進機構教授

佐々木英和

講座の内容

誰もが簡単にやれているようでいて、実際には案外と成立していないのが「話しあい」です。本講座は、話しあいを「話しこみ」・「黙りあい」・「言いあい」の域にとどめず、生産性の高い営みへと高めしていくための基本姿勢や技法などを身につけることが目標です。

定 員 15名

最小開講人数 10名

受講料 15,000円

プログラム 全15回

月 日	テーマ
1. 6月4日(火)	「ファシリテーション」とは何か？
2. 6月11日(火)	「聞く・聴く・訊く」の深みと広がり
3. 6月18日(火)	「伝える」と「伝わる」との段差
4. 6月25日(火)	プレゼンテーション洗練とPR戦略
5. 7月2日(火)	ソリューション志向の話しあいの基礎
6. 7月9日(火)	ソリューション志向の話しあいの実践
7. 7月16日(火)	クリエイション志向の話しあいの基礎
8. 7月23日(火)	クリエイション志向の話しあいの実践
9. 10月1日(火)	「話しあいファシリテーション」の実践
10. 10月8日(火)	「自己表出と仲間づくり」志向の話しあい
11. 10月15日(火)	文章作成技術を応用した会議運営
12. 10月22日(火)	「Why? What? How?」の会議運営
13. 10月29日(火)	「問題発見・問題解決」と「課題設定・課題達成」
14. 11月5日(火)	「メタ会議」の意義と効用
15. 11月12日(火)	「話しあいファシリテーター」の役割

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(6月4日)からの受講を強くお勧めしています。また、最後まで続けて出席できる人の受講を優先しています。

期 日
12月3日～1月21日

曜 日
火曜日

時間帯
18:45～20:45

24. 参加体験型学習で学びあうリーダー論

－「お互いの尊びあい」を促す学び方－

担当講師

地域創生推進機構教授

栃木県男女共同参画推進員

(株)クローバー教育事業部部長

NPO法人かぬま市民活動サポーターズ

佐々木英和

菅谷 浩

柏木 聖子

渡邊 博和

講座の内容

本講座は、「こうあるべきだ」と上から諭すやり方を脱し、受講者が話しあいやワークショップに参画しながら、身近な素材を用いて参加体験的に学ぶというやり方を基軸として、リーダーやリーダーシップについて学びあいながら構想する実験的講座です。

定 員 25名

最小開講人数 13名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ・担当講師

- | | | |
|--------------|-----------------|-------|
| 1. 12月3日(火) | リーダーとリーダーシップ | 佐々木 |
| 2. 12月10日(火) | 魅力的なリーダーとは？ | 菅谷・柏木 |
| 3. 12月17日(火) | 効果的なリーダーシップとは？ | 菅谷・渡邊 |
| 4. 1月14日(火) | リーダーシップ醸成の方法論 | 渡邊・柏木 |
| 5. 1月21日(火) | 「メタリーダー」の意義と可能性 | 佐々木 |

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

その他

- プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(12月3日)からの受講を強くお勧めしています。また、5回とも続けて出席できる人の受講を優先しています。

期 日
6月22日～7月4日

曜 日
土・日曜日

時間帯
13:00～15:30 他

25. 音楽を通じた地域づくり

ードラムサークルファシリテーションの基礎ー

担当講師

教育学部教授
DC-LAB主宰

長谷川万由美
三原 典子

講座の内容

音楽を通じてまちづくりを進めてみませんか。
非言語の共感と共鳴をリズムを通じて体感できるドラムサークル
ファシリテーションの基礎を実践的に学びます。

定 員 25名

最小開講人数 9名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日

テーマ

1. 6月22日(土) ドラムサークルとは (13:00～15:30)
2. 6月29日(土) ファシリテーションの基本を学ぶ (10:00～12:30)
3. 6月29日(土) ドラムサークルの実際 (13:30～16:00)
4. 7月14日(日) コミュニティドラムサークルを開こう (10:00～12:30)

会 場

第1回目 大学会館多目的ホール
第2回目～第4回目 峰が丘講堂

そ の 他

- 費用：テキスト代として別途1,000円が必要です。
初回に集めますので、おつりのないようにお持ちください。
- 打楽器の演奏経験が全くなくても大丈夫です。

期 日
8月21日～10月23日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

26. 終章コミュニティワーカー養成講座

—とちぎ終章学を学ぶ—

担当講師

地域創生推進機構コーディネーター
下野新聞社
社会福祉士事務所にじみる理事
特定非営利活動法人風の詩理事長
終章コミュニティワーカー
終章コミュニティワーカー
終章コミュニティワーカー

廣瀬 隆人
山崎 一洋
高田 美保
永島 徹
郡司 照江
高岩 初枝
竹原 典子

講座の内容

高齢者の特質や生活、介護に関する基礎的知識を学び、高齢者が暮らしやすいまちづくり活動を推進する人材を養成します。講座修了後は「終章コミュニティワーカー」として地域での活動が期待されます。

定 員 20名

最小開講人数 7名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ・担当講師

- | | | |
|---------------|-------------|----|
| 1. 8月21日(水) | とちぎ終章学とは何か | 山崎 |
| 2. 8月28日(水) | 終章を巡る諸問題① | 廣瀬 |
| 3. 9月4日(水) | 地域での活動から | 郡司 |
| 4. 9月11日(水) | 終章を巡る諸問題② | 廣瀬 |
| 5. 9月18日(水) | 地域での活動から | 高岩 |
| 6. 9月25日(水) | 終章を巡る諸問題③ | 廣瀬 |
| 7. 10月2日(水) | 地域での活動から | 竹原 |
| 8. 10月9日(水) | 終章を巡る諸問題④ | 廣瀬 |
| 9. 10月16日(水) | 地域課題と対応(演習) | 高田 |
| 10. 10月23日(水) | 終章の今とこれから | 永島 |

会 場 5C21教室(峰町5号館C棟2階)

期 日
8月3日～12月7日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

27. いのちをいただきます

—食と農の視点で、食卓から健康までを考える—

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

宇都宮大学認定食農ファシリテーター
宇都宮大学認定食農ファシリテーター

和久井 隆
鈴木 知子

講座の内容

日本の医療費は、今や国家予算の約半分の額に匹敵する深刻な状況です。健康に暮らしていくために大切な、農業・食事・心に関する様々な課題への対処法を学び実践することで、健康回復を図るなどの知恵につなげていきます。

定 員 15名

最小開講人数 10名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ・担当講師	
1. 8月3日(土)	畑の放射能汚染と対策	和久井
2. 9月7日(土)	大きいことは良いことか?	和久井
3. 10月5日(土)	自己免疫力を守る	鈴木
4. 11月2日(土)	あなたの体質は?	和久井
5. 12月7日(土)	自然の力・信じる力	和久井

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- 費用：材料費として、別途 2,000 円が必要です。
初回に集めますので、おつりのないようにお持ち下さい。
- 自然栽培で育った旬の野菜を味付け無しで食べていただき、毎回、自然栽培の野菜のお土産付きです。
- プログラムとは別に、希望者は自然栽培の畑（鹿沼市）をご案内します。

期 日
9月4日～10月16日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

28. 民俗学からみた栃木 No.10

－栃木の特異な信仰をたどる－

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

栃木くらし文化研究所代表
栃木県立博物館名誉学芸員

柏村 祐司

講座の内容

栃木県には岩船信仰や男体山信仰、あるいは古峰ヶ原信仰等、栃木県から発した信仰、あるいは全国的に見て栃木県に色濃く見られる特異な信仰があります。ここではそうした特異な信仰の成立、発展、普及等について紹介します。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

1. 9月4日(水)
2. 9月18日(水)
3. 9月25日(水)
4. 10月9日(水)
5. 10月16日(水)

テーマ

岩船山参り－祖霊信仰と地蔵信仰
男体山登拝－擬死再生信仰
古峰神社信仰－明治期の流行り神
雷神信仰－雷を善悪両用に祀る信仰
星の宮信仰－日光山の隠れた信仰

会 場

5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
9月7日～11月9日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

29. 2019年度地域コラムニスト養成講座

－絆と共感を生む情報発信とは？－

担当講師

地域創生推進機構教授	佐々木英和
内外切抜通信社クロスメディア戦略部長	小山 晋一
毎日新聞出版社大相撲中継編集部	高原 克行
毎日新聞東京本社編集編成局編集委員	内山 勢

講座の内容

新聞を開くとき、多くの人が正確な情報を得るだけでなく、社会の絆や共感を得ることを目的としています。地域のつながりをはぐくみ、活性化することが求められている今、絆と共感を生む情報発信について考え、自ら発信する体験にチャレンジしてみませんか。投書欄の元担当者らが丁寧に指導いたします。講義の中で執筆したコラムは、毎日新聞栃木県版に掲載させていただきます。

定 員 30名

最小開講人数 16名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ・担当講師	
1. 9月7日(土)	話すことと書くこと	佐々木
2. 9月28日(土)	SNSの情報流通と炎上対策	小山
3. 10月5日(土)	取材の仕方・事実確認の方法	高原
4. 10月19日(土)	伝わる写真撮影術	内山
5. 11月9日(土)	作品発表・評価	高原

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- 紙媒体だけでなく、インターネットやSNSでの情報発信も念頭にお話しします。
- 講義終了後も、受講者の皆さんの作品を掲載する際連絡を取らせていただく場合があります。

期 日
6月8日～7月6日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

30. 作ってみませんか 私の人生 24 句

— 400 字詰原稿用紙 1 枚で綴る私のものがたり —

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

毎日新聞社ビジネス開発本部委員

山本 建

毎日新聞社ビジネス開発本部委員

椎原 洋

毎日新聞出版社大相撲中継編集部

高原 克行

講座の内容

講師の指導の下、人生の来し方を振り返り、24 句の川柳で人生を綴り、思いを共有する場を提供します。作品を展示し、受講者から各 1 票、審査員からの投票と合わせて優秀作品を決定します。優秀作品は、毎日新聞紙上で紹介します。川島隆太・東北大学加齢医学研究所教授監修。同教授によると、脳科学者 400 字詰原稿用紙 1 枚分で自らの人生をまとめる作業は、脳を活性化し、認知症予防に効果があるとされています。

定 員 30 名

最小開講人数 16 名

受講料 5,000 円

プログラム 全 5 回

月 日	テーマ・担当講師	
1. 6月8日(土)	川柳の作り方／私の人生 24 句とは	未定
2. 6月15日(土)	昭和から平成へ～思い出ノートで振り返り	椎原
3. 6月22日(土)	綴り方指南	高原
4. 6月29日(土)	作品発表／展示	山本
5. 7月6日(土)	優秀作品発表	山本

会 場 5 C 2 2 教室 (峰町 5 号館 C 棟 2 階)

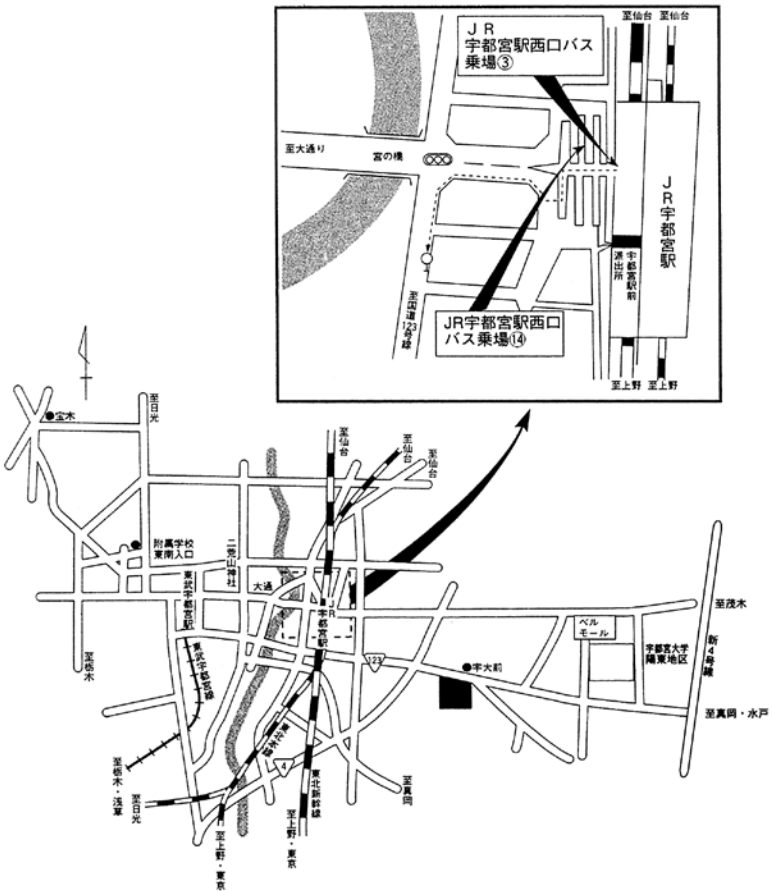
そ の 他

- 費用：補助教材として毎日新聞社製「思い出ノート」を使用します。別途 500 円が必要です。

初回に集めますので、おつりのないようにお持ち下さい。

VI 宇都宮大学までの交通

JR宇都宮駅バス乗り場



※バスで来学される方へ

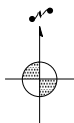
JR 宇都宮駅西口より

- 3 番乗場 JR バス
清原台団地、祖母井、茂木行きなど
(乗車約 15 分、宇大前下車)
- 14 番乗車 関東バス
真岡、益子、海星学院行きなど
(乗車約 15 分、宇大前下車)

JR 宇都宮東口より

- 関東バス
宇都宮駅東循環バス左回り
(乗車約 10 分、宇大前下車)

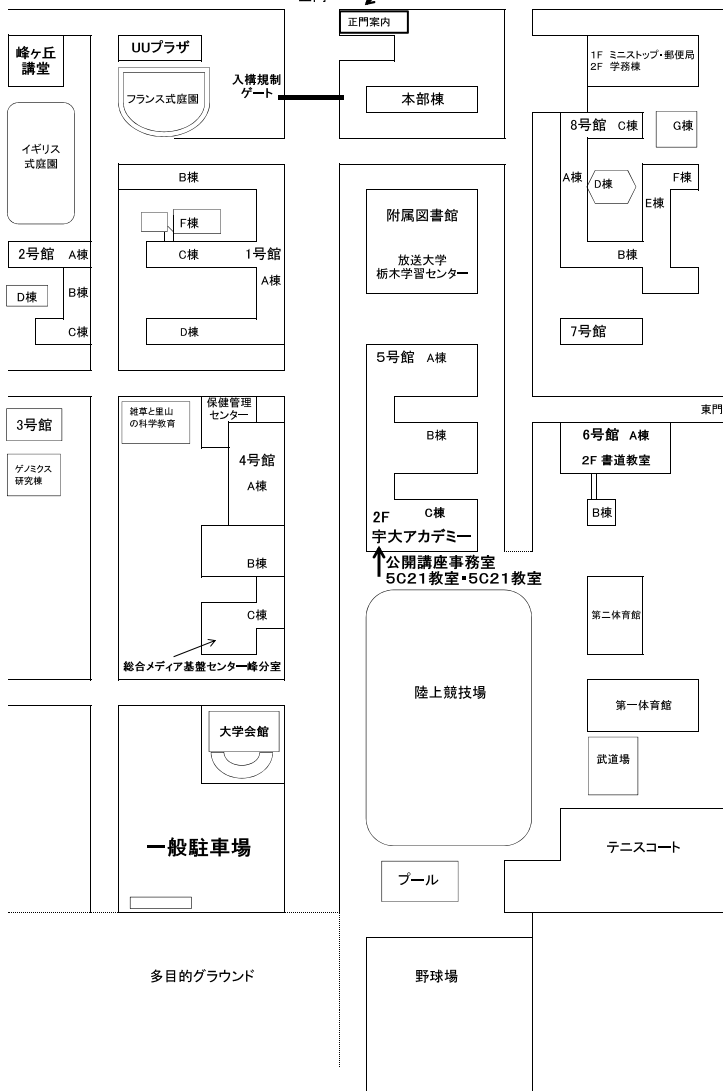
Ⅶ 宇都宮大学構内建物配置図 (峰キャンパス)



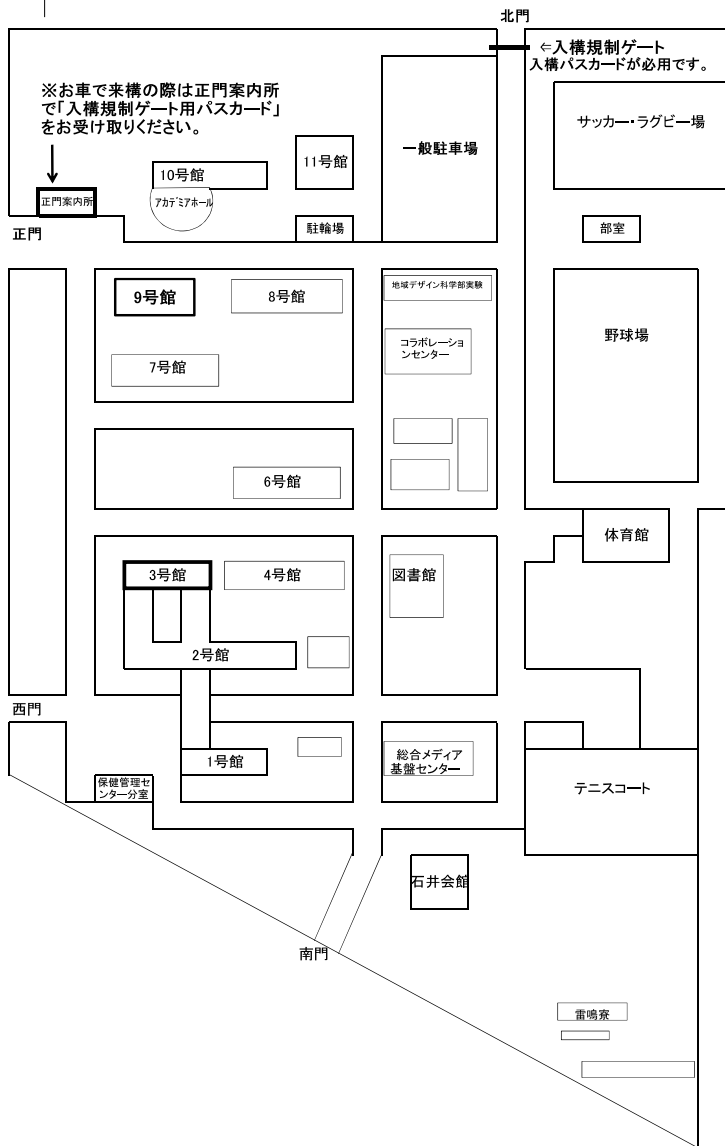
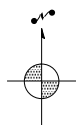
国道123

正門

※お車で来構の際は正門案内所で「入構規制ゲート用パスカード」をお受け取りください。



VII 宇都宮大学構内建物配置図 (陽東キャンパス)



MEMO

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, starting below the title and extending to the bottom of the page.